

「平成27年度学校教育学部同窓会総会・研修会」を開催

年が明けてすぐの平成28年1月9日(土)、恒例の同窓会総会・研修会が開催されました。

今年度は「ホテル北野プラザ六甲荘」での開催となり、同窓生に学長はじめ大学関係者を加えた76名が集いました。

今年度の開催は、3・4・13・14・30期の卒業生が主担当で、総合司会は三宅佳奈子〔26期〕さんが務めてくださいました。総会ではまず、藤原路寛〔3期〕さんが議長として選出され、以下の議案について審議がなされました(カッコ内は報告者)。

1号議案「平成26年度事業報告」(南埜 猛〔2期〕庶務)

2号議案「平成26年度会計決算報告及び監査報告」(中村太一〔14期〕主計、森田啓之〔1期〕庶務：監査代理)

3号議案「同窓会会則の改正(案)」(南埜 猛〔2期〕庶務)

4号議案「役員改選(案)」(南埜 猛〔2期〕庶務)

5号議案「平成27年度事業計画(案)」(南埜 猛〔2期〕庶務)

6号議案「平成27年度会計予算(案)」(中村太一〔14期〕主計)

7号議案「今後の名簿作成の方針(案)」(南埜 猛〔2期〕庶務)

7号議案では、「同窓会名簿の次々号以降は冊子媒体での発行は行わない」旨の提案がなされ、承認されました。また、その他の各議案もすべて、拍手をもって原案通り承認されました。

そして、研修会に先立って加治佐哲也学長から祝辞が述べられました。学長からは、昨今の教育界の状況を鑑みると、教師を志す若者が減るのではないかとといった危惧を感じるため、今後は児童生徒たちに教師に対するプラスイメージをもってもらえるような働きかけをしていく必要がある、とのお言葉を頂戴いたしました。



研修会での講演は、菊地幸夫弁護士(番町法律事務所・第二東京弁護士会)による『出会いの人生から学んだこと』と題したものでした。菊地氏は、大学で非常勤として法律を20年間教えておられた中で、問いに対して自分の頭で考える学生が少なく、答えだけを求

める学生が多い状況を目の当たりにし、幼い頃からの教育を通して、問いに対して教師と子どもたちが双方向的なやりとりをしながら考究することの大切さを痛感したとのことでした。そして近年ではそうしたご経験を生かしながら、弁護士業務の傍ら、小学生のバレーボールチームの監督をお務めになっており、その中で、カリスマ的な指導者に無批判に従うような、大人がコントロールしやすい子どもを育てるのではなく、「私はこう思う」と自由闊達に自身の考えを表明することのできる子どもを育てたいといった思いを強くしているとのことでした。さらに、芸人としての自己研鑽のために日々読書を欠かさないお笑い芸人を例に挙げながら、子どもについて「この子は勉強のできない子だ」とある



段階で早急に決めつけるのではなく、人間は絶え間なく変化し続ける存在であることを念頭に置きながら、変化を信じて長い目で見守り、粘り強くなかわり続けることが重要であることを力説されました。フロアの聴衆はみな、長年の泥臭い経験に裏打ちされた説得力のある菊地氏の語りに魅了されながら、日々の教育実践や子育てに思いを馳せているといった様子で、今後の日本の教育を考えるための大変充実した研修会となりました。

総会の最後には記念撮影が行われ、学長のほか、福田光完副学長、名須川知子先生らとともに、参加した同窓生一同が一枚の写真におさまりました。当日の企画運営におきましては、兵庫教育大学の都道府県連携本部の皆さまに多大なご協力をいただきました。ここに記して御礼申し上げます。

平成 28 年度の同窓会総会・研修会は、1・2・11・12・31 期の卒業生が中心となって担当し、平成 29 年 1 月 7 日(土)に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスで開催する予定です。今年にも増して多くの同窓生が集うことを願っております。

